

## 地域別検討協議会学区別検討資料(石狩学区)

## 石狩学区高校配置計画の見込み

区分	R 2 (2020)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	令和3～9 (2021～2027) 年までの 増減	令和6～9 (2024～2027) 年までの 増減	
石狩学区中卒者数	19,166	18,779	19,362	19,407	19,486	19,204	19,289	18,849	▲ 317	▲ 558	
対前年増減		▲ 387	+ 583	+ 45	+ 79	▲ 282	+ 85	▲ 440			
札幌市中卒者数	( 15,090 )	( 14,856 )	( 15,246 )	( 15,418 )	( 15,427 )	( 15,286 )	( 15,400 )	( 14,961 )	▲ 129	▲ 457	
対前年増減		▲ 234	+ 390	+ 172	+ 9	▲ 141	+ 114	▲ 439			
江別市中卒者数	( 1,173 )	( 1,139 )	( 1,212 )	( 1,108 )	( 1,156 )	( 1,101 )	( 1,190 )	( 1,175 )	+ 2	+ 67	
対前年増減		▲ 34	+ 73	▲ 104	+ 48	▲ 55	+ 89	▲ 15			
千歳市中卒者数	( 871 )	( 910 )	( 927 )	( 910 )	( 963 )	( 916 )	( 924 )	( 922 )	+ 51	+ 12	
対前年増減		+ 39	+ 17	▲ 17	+ 53	▲ 47	+ 8	▲ 2			
恵庭市中卒者数	( 633 )	( 616 )	( 655 )	( 670 )	( 633 )	( 637 )	( 607 )	( 610 )	▲ 23	▲ 60	
対前年増減		▲ 17	+ 39	+ 15	▲ 37	+ 4	▲ 30	+ 3			
北広島市中卒者数	( 646 )	( 592 )	( 618 )	( 643 )	( 603 )	( 641 )	( 585 )	( 604 )	▲ 42	▲ 39	
対前年増減		▲ 54	+ 26	+ 25	▲ 40	+ 38	▲ 56	+ 19			
石狩市中卒者数	( 609 )	( 541 )	( 555 )	( 544 )	( 571 )	( 497 )	( 487 )	( 476 )	▲ 133	▲ 68	
対前年増減		▲ 68	+ 14	▲ 11	+ 27	▲ 74	▲ 10	▲ 11			
学校名	令和2(2020)年度の 学科及び募集学級数			R 2 (2020) 欠員	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度の見通し	令和6(2024)～9(2027)年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計								
札幌東	8		8	0			0～1学級の調整	4年間で9～10学級の調整			
札幌西	8		8	-4							
札幌南	8		8	-2							
札幌北	8		8	-1							
札幌月寒	7		7	-1		普+1					
札幌啓成	8		8	0							
札幌北陵	7		7	0		普+1					
単 札幌手稲	7		7	0		普+1					
フ 札幌丘珠	7		7	-1		普+1					
札幌西陵	7		7	27							
単 札幌白石	7		7	0							
単 札幌東陵	8		8	17		普▲1					
札幌南陵	4		4	23							
札幌東豊	6→4		4	23							R2(2020)第2次募集後学級減
総 札幌厚別	7		7	0							
札幌真栄	4		4	3		普+1					
フ 札幌あすかぜ	7→6		6	26							R2(2020)第2次募集後学級減
札幌稲雲	7		7	0							
フ 札幌平岡	6		6	0							
単 札幌英藍	8		8	0		普▲1					
単 札幌白陵	4		4	19							
札幌国際情報	4	工 商 1	8	0							
江 別	5	商 家 2 1	8	-1		普▲1					
フ 野 幌	4→3		3	20					R2(2020)第2次募集後学級減		

学校名	令和2(2020)年度の 学科及び募集学級数			R2 (2020) 欠員	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度の見通し	令和6(2024)～9(2027)年度までの見通し	摘要
	普通	職業	計						
単 大 麻	7		7	0					
千 歳	6	商 2	8	7					
フ 千歳北陽	5→4		4	19					R2(2020)第2次募集後 学級減
単 北 広 島	8		8	0	普▲1				
北広島西	7		7	39					
石 狩 南	7		7	0					
当 別	2	農 1 家 1	4	73					
恵 庭 南	7		7	3					
恵 庭 北	7		7	26		普+1			
札幌工業		工 8	8	10					
札幌琴似工業		工 8	8	9					
札幌東商業		商 8	8	20					
総 石狩翔陽	8		8	0					
単 *市立札幌旭丘	8		8	-1					
*市立札幌藻岩	8		8	-1	普▲2 単位制導入				
*市立札幌平岸	8		8	-1					
単 *市立札幌清田	6		6	-1					
中 等 *市立札幌開成	4		4	5					コズモサイエンス科単位制
*市立札幌新川	8		8	-2					
*市立札幌啓北商業		商 6	6	-1					
44校	262 → 257	41	298	352	普▲6 普+1	普+5			

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。

注2 学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域連携特例校、「中等」は中等教育学校。

注3 学校名の\*は市町村立学校。

注4 令和2(2020)年度募集学級数の「→」表示は、第2次募集後の学級減を実施したことを示す。

### 学区の検討事項と現状・課題

学区の検討事項	現状・課題
○中卒者数の増減に対応した高校配置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5(2023)年度の定員調整等の検討に当たっては、学区全体で45人の中卒者数の増が見込まれるが、欠員の状況、区市町村ごとの中卒者の状況なども考慮した検討が必要</li> <li>令和6(2024)年以降については、令和9(2027)年までに学区全体で558人の中卒者数の減が見込まれること、特に令和7(2025)年に282人、令和9(2027)年に440人の大幅な減少が見込まれることや、区市町村ごとの中卒者の状況、欠員の状況やこれまでの調整を考慮し、札幌市内において、生徒急増期に新設した学校を中心とした再編整備を含め、公立高校全体での定員調整の検討が必要</li> <li>欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要</li> </ul>